

平成27年7月18日～23日

フィリピン レイテ島訪問報告書



認定NPO法人 WITH事務局
〒504-0913 岐阜県各務原市那加大東町61番地の2
TEL.058-382-3688
FAX.058-389-1201

<http://www.with-pj.org>
E-mail / info@with-pj.org





「W I T H」は、
アジア諸国において植樹活動、
物資支援を行う特定非営利活動法人です。

近年、アジアを中心に各国で地滑り・水害など多数の災害が発生し、多くの人々が犠牲となり、地球温暖化も進んでいます。
その原因として、後を絶たない森林の違法伐採があげられ、年々悪化しつつあります。
この問題の解決の糸口として、アジア諸国での植樹活動および現地の子供たちに物資を支援し、健全な育成を図ることを目的とし、2007年4月、特定非営利活動法人W I T Hを設立いたしました。
未来の地球環境の保護に貢献すべく、今後も活動を継続し、拡大していきたいと考えております。
2015年7月18日～23日の6日間、第13回マングローブ植樹事業として、フィリピンへ行ってまいりました。
昨年に続き5年目のレイテ島訪問です。
マングローブ植樹、及び地元の小学校の生徒達に合計約240kgの衣服や文具の支援を行いました。また今回のツアーに関しては大阪コミュニティ財団（東洋ゴムグループ環境保護基金）様より助成金をいただいて事業を行いました。
今後とも「W I T H」の活動にご賛同いただくとともに、ご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

代表 橋本 佳幸

■平成27年7月5・8・11日 WITH事務局にて

7月の植樹ツアーの準備のため、出発するメンバーを中心としたスタッフが集まりました。今回は初参加2名を含む8名分の荷づくりをしました。

今回、荷物の重量制限(預け荷物)が30Kgということもあってなかなか、荷物が入りませんでした。一人の預け荷物を複数にわけることで、何とか目標重量を達成しました。



「この服喜んでもらえるかな」「今回は文具多めに持っていこうかな」など色々考えながら荷物を作ります。当日が楽しみです。



レイテ島まではマニラ空港から飛行機で約1時間程



■平成27年7月18日 中部国際空港

セブパシフィックのチェックインカウンター前で集合。

今年もセントレアより昨年就航したLCCを利用。

■ 18:30 セントレア集合

■ 19:00 チェックイン

当日初めて顔を合わせるメンバーもいるので、メンバー紹介。

最初はぎこちないですがすぐに打ち解けました。

■ 21:10 セブパシフィック 5J5039便

定刻通り出発。

■ 1:15(現地時間) マニラ着

無事フィリピンに到着。日本との時差はわずか1時間、現地は夜中です。

■ 4:25 マニラ発 セブパシフィック 5J651便

搭乗まで時間があるので搭乗口前にてしばし休息。

■ 5:40 レイテ島着 タクロバン空港

現在雨季ですが現地は晴れ！

迎えに来てくれた現地スタッフと合流。



カウンターにて



いよいよ出発、会話が弾みます



今回のメンバー 椿井、濱上、橋本、澤井、栗原、上野(真)、上野(智)、川本の8人



夜中マニラ到着



荷物を無事受け取る



搭乗口前で寝ながら休憩。夜中ですから



レイテに降り立つ！すっかり朝です



空港前にて



お迎えのバン到着



30Kgの荷物を載せる



朝食はジャリビーにて

■平成27年7月19日 レイテ島

■ 7:30 ジャリビーにて朝食。日本では馴染みがありませんが、フィリピンではマクドナルドよりポピュラーなハンバーガーチェーン店です。

■ 11:20ホーリーチャイルドペンション到着

バトウのホテルに到着。一旦荷物をホテルに入れて昼食へ。

■ 12:00 昼食。ホテル近くの「KUBO Gril」へ。フィリピンに着いて初めて落ち着いて食事をする。現地料理にメンバー同舌鼓を打つ。



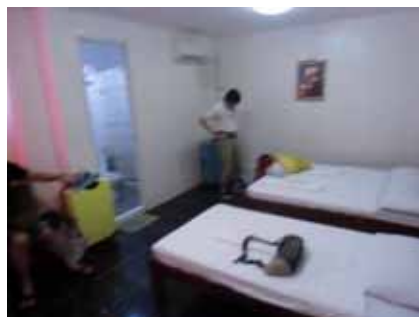
「これがジャリビーか！」



朝なせいか客は少なめ。いつもはもっと、、



ホテルに到着



宿泊部屋



トイレ



3人部屋限定ですが室外機型のエアコンが！



本日の昼食処
「KUBO Gril」



まだ新しそう。ペンションっぽいです



焼き鳥から海の幸まで豪華！



いただきます！



プール付き！



料理おいしい！



帰りは荷台に乗って帰る



意外に煙い

■ 18:00 夕食。ホテル近くの港の売店で焼き鳥を食べる。
明日の予定の確認や、セレモニーのスピーチ担当を決めました。
話が尽きることないです。

■ 20:30 ホテル着
明日のWITHメンバーのTシャツが配られる。
就寝。明日が楽しみです。

■ 平成27年7月20日 レイテ島

■ 7:30 起床。
■ 8:00 小学校到着。
大きな歓声の中、WITHメンバーが入場。
子どもたちが日本とフィリピンの国旗を振ってお出迎えしてくれました。
来た甲斐がありました！



夜になり少し涼しい。外で飲む一杯は格別！



昼に続き焼き鳥。フィリピンは焼き鳥がうまい



全員Tシャツを変えて車に乗り込む



到着、既に中では子供たちがまっている



いよいよ入場！



旗を振って出迎えてくれます



歓声の中入場



沢山の子どもたちが集まりました。

■ 8:10 セレモニー開会

日本、フィリピンの国歌斉唱。

次はWITHスタッフを一人ずつ紹介。

続いて先生や村の人の紹介。

また学校から感謝状をいただきました。

WITHスタッフの濱上から子どもたちに挨拶。日本語で話して
現地スタッフに現地の言葉に訳していただきました。



先生の紹介



WITHスタッフの紹介



小学生からの歓迎のダンス



濱上の挨拶



村の人たちの紹介



来賓にプレゼント



WITHへ感謝状の贈呈

小学生たちによる歓迎のダンスの披露。

小学生ならではの初々しさがとても微笑ましい。

レクリエーションでは子ども5人 vs WITHメンバー3人のサッカー試合。

激闘の末、惜しくも3-2で日本の負け！子どもはよく動く。

続いて全員参加のビンゴ大会。子どもだけでなく大人もWITHスタッフも参加！

ビンゴの人にはお菓子や文具をプレゼント。

大いに盛り上がりました。



サッカーのスターティングメンバー



激闘！子ども相手でも！



ビンゴカードが配られる。熱いまなざし！



スタッフが番号を読み上げます



ビンゴの子どもが来ると番号をチェック



多くの子どもが押し寄せてきました！



ピンゴ当選者が前に出てきて並ぶ



最終的には全員前に出てくる。



みんなでカードを見せ合う。あといくつ？



かなり初期にリーチなのにピンゴならず

■ 10:40 セレモニー閉会

楽しい時間はあっという間に。セレモニー終了。
また子どもたちと会えるのが今から楽しみです。

■ 11:00 植樹サイトへ移動

サイトにスタッフと現地の人たちが集合。
ここでお昼ご飯になります。



小学校から徒歩でサイトへ移動



サイトの海。レイテは海がきれいです

←2011年



桟橋周辺は大分、波による浸食が進み、何本かの木が倒れています



↑2011年



モニュメント辺りまで浸食が進んでいます。植樹することによって浸食を防ぐことの大切さを痛感しました



↑2011年

海岸には何もありません



↑2011年

2011年暮れに苗を植樹



↑2012年

まだまだ小さい苗です



↑2013年

苗が順調の育ち、根も出てきました



2015年

左の写真のWITHスタッフの身長が160cm. 大きいものでは彼女くらいの大きさに育ちました。
レイテの台風をも乗り切った木です。将来が楽しみです



↑2014年

大人の腰を越えるくらいに成長



食事の用意ができました。おいしそう！



マンゴーにパイナップル、ルン
ピア(春巻きみたいなもの)



フィリピン料理にスタッフは夢中！



先生や子どもたちも一緒に食事

■ 12:10 植樹開始

WITHスタッフ男性陣と女性陣分かれて作業に。男性陣は沖へ移動。植樹場所の確認。女性陣は現地の人と苗づくり。
しかし突然のスコール！
30分ほど作業を中断。



食事後、子どもたちと遊ぶ



スタッフと記念撮影



森に入って橋樑付近、この苗も育ってます



沖側は腰まで浸ってます



昨年作ったコロニーに到着



この苗も育っています



胸あたりまで水が...



女性陣と子どもで苗づくり



森の土と砂をまぜて苗の土壌をつくります



ビニールに土壌と苗を入れて包みます



できあがり



子どもの胸の高さまであります



苗ができたので子どもたちも沖へ



あまりの深さに泳いで遊びました



苗踏むなよ！

沖側の潮があまり引かなかったので
浸食が進む海岸側に苗を植えることに。
WITHスタッフ、現地の人ともに栈橋
入口へ移動。苗を植えました。



海岸線に並行する形で、スコップで穴を掘りました。
30cmほどの等間隔で苗を植え、周りを波除けの竹で囲います。
あとは土砂を戻し出来上がり！

■ 15:35 サイト

見事完成しました！

この苗が無事育って、海岸の浸食を防ぐのに役立ってくれるといいですね。
これからの成長が楽しみです。

■ 16:20 ホテル帰着

夕食まで少し休憩。みんなぐったりです！



■ 18:30 夕食

ホテルから歩いて10分ほど。近所の「アンドックス」で夕食。フィリピンではポピュラーなファミリーレストランです。スタッフお互いに今日の苦労話をして盛り上がりました。

■ 21:30 就寝

明日はマニラへ移動です。

■ 平成27年7月21日 ホテル

■ 7:30 昨年末WITHが建設した小学校の校舎を見学することに。フィリピンの小学校に風景を見ることができる貴重な体験です。



アンドックスで夕食



割と料理は外れなし



小学校へ



登校中の学生に混じって校舎へ



校舎へ到着



なかはどんな風かな？

完成した校舎内を見学。
 実際使っている光景の見るは初めて。
 笑顔で教室を使っているのを見るとこちらも
 嬉しくなってきますね。
 校庭にて小学校の朝礼を見学して
 小学校を後にしました。



■ 8:30 ホテル出発
 スタッフの一人、上野(真)は2週間ほどレイテ
 に滞在するので、一行とはここで別れ。
 お互いの無事を祈り、いざタクロバンへ
 移動します。
 ■ 11:10 タクロバン
 ショッピングモール「ロビンソン」に到着。



荷物をバンへ詰めます。帰りは軽い！



ここでお別れ。気を付けて



ロビンソン到着



お昼はここへきてまさかのKFC

ここでお昼ご飯です。
 ■ 15:05 タクロバン空港着
 早めのチェックイン。以前出発1時間前に
 飛行機が飛び立ったことがあり、
 少し早目にしました。
 もちろん今回は大丈夫です！



空港到着



チェックイン。混んでます



出発まで近くでお茶

■ 17:05 タクロバン空港発

15分ほど遅れて出発。

■ 18:15 マニラ到着

■ 19:20 ホテル

マニラの「ロスマンホテル」でチェックイン。

■ 20:45 夕食

スタッフみんなで夕食。

ツアーもとうとう折り返し、

明日に備えて英気を養いました。

■ 平成27年7月21日 ホテル

■ 10:00 ロビーにて集合。本日は路上生活している子どもたちを支援する施設「ドロップインセンター」を訪問、子どもとの交流イベントを行います。

■ 10:20 お米屋さん

子どもたちにプレゼントするお米を購入。

■ 10:40 サンチアゴ要塞

ドロップインセンター訪問まで少し時間があるので、サンチアゴ要塞をみんなで訪れました。メンバーも意外と知らないフィリピンの歴史について少し学びました。



搭乗。小雨がふってきました



マニラ到着。やっぱりすごい人



ホテルチェックイン。もう夜です



夕食。明日に備えます



バンに乗り込みます



フィリピンのお米屋さん



10Kg購入しました



サンチアゴ要塞。入場料75P



ホセリサルとマッカーサーの像



記念撮影のスポットらしい



要塞全景



ホセリサールの記念館



さらに周辺の街並みを散策

■ 12:55 ブルメントリット駅

ブルメントリット駅にて「ドロップインセンター」を運営しているNPO法人「ICAN」のスタッフと合流。このブルメントリット駅周辺には多くの路上生活者がいる。「ICAN」では主にこの周辺にいる子どもを施設に収容し、支援している。駅周辺には100名以上の路上生活している子どもたちがいると推測されるが正確な人数は把握されていない。

ICANスタッフの岩下さん、現地ICANスタッフのノトさんと合流。駅周辺を案内してもらう。



高架の向こうが駅。高架下の道路は車通りも人通りも多い



線路沿いに生活用のテントが多く張られている



テントが線路沿いに並ぶ



線路横の用水路



路上生活者が住んでいるテントの一つ



線路の石の上で洗濯物を乾かす

この駅周辺に路上生活者が集まる理由としては、横に市場があり、仕事が可能であること、用水路があること、道路沿いにテントを張るスペースがあるなどがある。クリスマスは特に集まる。用水路は当然汚い。乾期は子どもがここに飛び込んだりすることもあり、衛生的に悪い。併せて車通りも多いことから、気管支炎、皮膚病、またはその合併症など、病を患っている子どもが多い。もちろんその治療費はない。



線路横にある市場



ICANスタッフ岩下さんに話を聞く

政府も対策として、路上生活者を再定住地へ住むように促している。しかし夜中に政府の職員が駅周辺にやってきて、強制で連れていくなど、そのやり方も問題となっている。

しかし再定住先の家には仕事もなければ、食べ物、ガス、水もないため、抜け出して駅へ戻ってくる人も少なくない。

多くの子どもたちは学校へも行けず、行ったとしても外見で差別されることも少なくない。また駅周辺では子どものシンナーが問題となっている。大人たちが建設現場の溶剤などを横流しし、子どもに売っている。通常ご飯でお腹を満たそうとすると大体40ペソ～程かかるが、シンナーは5ペソで流通している。子どもの間にシンナーが蔓延するにのほ、シンナーで空腹を忘れることができるからだ。線路ではシンナーを吸ったまま横たわり電車に引かれる子どももいるという。



中央分離帯には多くの子どもがたむろしている。そこから子どもが1人こちらへ歩いてきた。手にはシンナーを持っていた



子どもは痩せていて目がとろんとしている子どももいる



「ドロップインセンター」へ移動



ドロップインセンターへ移動。引き続き岩下さんにセンターの説明をしてもらう。ドロップインセンターは2014年の3月に開設している。目的としては路上生活してる子どもたちに家の大事さ、食事することの大切さなどを知ってもらうことから始まっている。現在3名のスタッフが働いており、水～土の10時～17時まで開いてる。主に施設で実施していることは、スタッフによる髪や爪(衛生面)のチェック、スタッフとの食事、お昼寝、識字・算数など。またモラルや保健教育、シンナーのこと、村の無料診療所の行き方なども教えている。

ドロップインセンターでは看護師やソーシャルワーカーもいて、個別に子どもをどうしていくかを決めていく。子どもの多くは大人からの虐待などもあり人間不信になっている。そのためNGOの施設に入所しても逃げ出す子どもも多い。ドロップインセンターでは施設の前段階として、まわりの子どもやスタッフとのコミュニケーションを深めていくことを通じて集団生活に馴染ませる役割ももっている。



ICANの方が子どもを一人、私たちに紹介してくれた。彼の名前はジャスティン、愛称はジャオジャオ。13歳。

路上生活を送る子どもの一人だ。お父さんが既に亡くなり、お母さんが市場で働いている。10人兄弟だ。23歳のお姉さんは音信不通、21歳のお姉さんはマニラで結婚したという。18歳のお兄さんは鶏の世話で生計を立てており、17歳お兄さんは警察から身を隠しているという(理由は不明)。16歳のお姉さんは市場で野菜を売っていてジャオジャオと一緒に暮らしている。15歳のお姉さんも一緒に住み学校に通っているという。下の二人の弟は魚を売っている人に養子にもらわれたそうだ。10人兄弟だから、1人足りないことになるが、ジャオジャオはその兄弟のことを覚えていないという。お母さんと一緒に住んでいないのは虐待を受けているからだ。

彼は今まで月1万ペソの賃貸に住んでいたが2回目の家賃が払えず路上にもどってきたという。路上の椅子や、知り合いのトライシクルで寝させてもらうことも。それでも寝床が確保できない場合は通り沿いで段ボールにくるまって寝る。しかしドブネズミに噛まれることもあるのでなるべく高いところで寝るという。仕事は市場で野菜を洗ったり、運んだりしている。またジブニーに客を呼び込む仕事をしている(満室になったら10-20ペソ貰える。1日調子がいいと20台ほど)。彼に「お金を貯めてどうするの?」と聞くと「いい服を買いたい」と答えた。



子どもから質問を受ける。「いくつ?」「職業は?」「何しに来たの?」などなど



WITHからも「将来何になりたい?」などの質問が「看護師」「消防士」などなど

ドロップインセンターのこどもたちとWITHスタッフの交流イベント。質問やゲームなどで盛り上がりました。
またWITHから石鹸とお米のプレゼント。
フィリピンと石鹸の臭いが違う!と大変喜んでもらいました。名残惜しいですが子どもと記念撮影をして「ドロップインセンター」を後にしました。





遊ぶと本当に楽しそうな子どもたち。大人に不信感があるとは思えないほど。彼らの多くは自分の正確な誕生日を知らず、みんなが何かしらジャオジャオのように仕事をしている。

■ 16:50 サンマテオ市「子どもの家」

NPO法人ICANが運営を目指す長期保護施設
「子どもの家」の建設現場を視察に訪れました。
まだ建設中です。

ICANで初めて運営する長期の保護施設です。
従来、ICANの「ドロップインセンター」から子どもを
NGOの長期保護施設に保護してもらっていましたが
それをICAN自身で運営していく形に
なります。まずは6人の子どもから始め将来的
には100人程収容したいとのことです。

ドロップインセンターで養ったスタッフと子どもの信頼関係が、保護施設でも継続することで、大人不信の子どもが長く居ることができる施設を目指します。
資金的なことで工事が遅れていますが、ICANスタッフ一同完成を待ち焦がれているとのことです。



敷地には結構、果実が生る木が生えている



1Fはこんな感じ



ヤギや野良犬の住家に。。



引き続き岩下さんから説明を受ける



2Fはまだまだ出来ていない



外。ヤギが。。

■ 19:10 ホテル着

■ 19:45 夕食

イベントは一通り終了。みんなでこれまでの感想を話しながら
お互いをねぎらいました。

■ 平成27年7月23日 マニラ

■ 11:30 ホテル出発

■ 12:30 マニラ空港着 チェックイン

■ 15:20 マニラ発 (5J5038)

■ 20:30 セントレア着

みなさん大変お疲れ様でした！

セントレアにて解散。



ホテル着。渋滞で遅くなりました



ツアー最後の夕食



ホテル出発



空港着。荷物も軽い！



空港内で昼食



これラーメン？



セントレアにて